

岩波駅周辺地区 まちづくり基本計画(概要版)

Area around Iwanami Station Town development basic plan

岩波らしい自然と未来技術でつながるまち

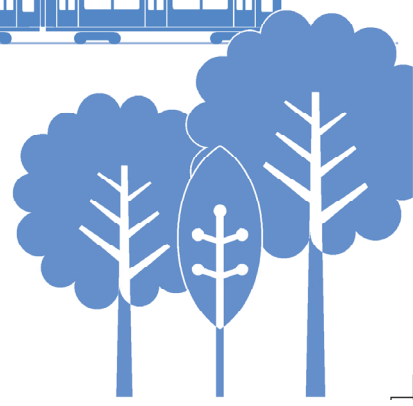


令和4年3月



静岡県
Susono City

裾野市



岩波駅周辺地区まちづくり基本計画の概要

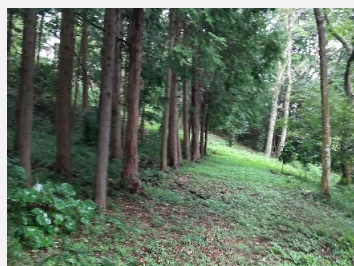
1. 岩波駅周辺地区まちづくり基本計画策定の目的

裾野市の北部地域は、主に工業系の用途地域が指定され、今日まで、製造業や研究所などが多数立地した工業中心の土地利用が図られてきました。このような中、昭和30年代に立地した大手自動車製造工場が閉鎖されることとなり、その工場跡地を「ヒトが中心」で、未来のための実証実験ができるプラットフォーム（ウーブン・シティ）としていくことが計画されたことから、昨年度「裾野市北部地域まちづくり基本構想」を策定し、この構想の中で岩波駅周辺整備を短期構想と位置付けました。

以上のことから、岩波駅周辺整備を具現化するため、本年度「岩波駅周辺地区まちづくり基本計画」を策定するものです。

2. 岩波駅周辺地区の現状

- ・ 岩波駅前広場には駅前ロータリーや駐車場がなく、**車と人の動線が入り混じっている状況**
- ・ 市道（富士見橋付近）は、岩波駅と周辺企業を結ぶ動線上にあり、朝夕は通勤・通学者で混雑し、**歩行者が車道を歩かざるを得ない状況**
- ・ 国道 246 号に架かる 2 箇所の横断歩道橋は、岩波駅から周辺企業へ向かう通勤者等が多く利用
- ・ （一）黄瀬川や樹林地といった**豊かな自然環境**や、（一）黄瀬川沿いには、**地域の人々や産業のコミュニティ拠点**である「いwanaみキッチン」が立地
- ・ 国道 246 号沿道（東側）は、**民間企業の社宅とともに樹林地や（一）黄瀬川、（一）久保川の豊かな景観を有する広大な緑地空間を形成**
- ・ 岩波駅周辺には、**子育て支援や商業、金融、医療等都市生活におけるサービス施設が不足**



3. 岩波駅周辺地区の地域課題

岩波駅周辺地区の現状を踏まえ、4つの地域課題を整理します。



- ・ 岩波駅周辺の**安全安心な交通環境の確保**や**交通結節点機能の改善・強化**
- ・ 豊かな自然環境等の**多様な魅力の利活用と発信**
- ・ 都市生活における**サービス施設の充足と定住の促進**
- ・ ウーブン・シティプロジェクトや関連事業との**連携したまちづくりの促進**

4. 市民の想い（岩波駅周辺地区まちづくりワークショップ）

岩波駅周辺地区の整備について、まちづくり方針（まちの将来像）をまとめることを目的とし、地域住民や周辺企業の方々と意見交換を行うワークショップを開催しました。



(1) 地区の良い・気になるところ (2) 地区のまちづくりに向けたアイデア

良いところ

- ・(一) 黄瀬川が近接する
- ・富士山の景色
- ・いわなみキッチン
- ・田園風景が良い
- ・岩が見ごたえがある 等

気になるところ

- ・歩道が狭い
- ・昼に人がいない
- ・空き店舗
- ・駅前が混雑している 等



景観に関すること

- ・(一) 黄瀬川沿いに景観を楽しむことができる遊歩道があるとよい
- ###### 富士山に関すること
- ・駅から出たとき、(一) 黄瀬川までの道中で富士山が見えるとよい
- ###### 安全に関すること
- ・駅前にロータリー、歩車を分離する歩道があるとよい
- ###### 賑わいに関すること
- ・空き家を活用できるとよい 等



(3) 地区のまちづくりに求める要素

職住に関すること

- ・オフィス・ワーケーション施設
- ###### 交通に関すること
- ・岩波駅の東西からアクセス可能
- ###### 交流・賑わいに関すること
- ・集える場所
- ###### 地元の景観に関すること
- ・自然を活かした公園
- ###### 市民や企業の活躍に関すること
- ・活気あふれるまちづくり 等

(4) まちづくりへの具体的な関わり方

◆自然を生かすエリア

- ・マーケットマルシェの運営

◆交流と魅力を発信するエリア

- ・イベントの発信

◆東西をつなぐ新設道路

- ・箱根に来る観光客の誘導を提案

◆安全な歩行者空間の整備と生活サービス施設の充実を図るエリア

- ・ブースを出展する

◆駅前交通結節点機能の改善・強化を図るエリア

- ・ガイドとして手伝い 等

◆自然を生かすエリア

- ・自然公園
- ・(一) 黄瀬川沿いの遊歩道
- ・富士山ビュー
- ・(一) 黄瀬川の景観

◆国道 246 号沿道を活用した交流と魅力を発信するエリア

- ・道の駅
- ・交流施設
- ・ウーブン・シティ・Y-CITY・岩波をつなぐ施設
- ・ウーブン・シティの紹介スペース

第 4 回ワークショップ各グループ発表のまとめ



◆安全な歩行者空間の整備と生活サービス施設の充実を図るエリア

- ・歩道の確保
- ・歩道の高架化
- ・動く歩道
- ・ウーブン・シティまでの歩道橋
- ・商店街・商業施設
- ・飲食店
- ・複合施設

◆駅前交通結節点機能の改善・強化を図るエリア

- ・駅前ロータリー
- ・駐車場、駐輪場
- ・駅東口改札
- ・自動運転車両の回遊
- ・シェアサイクル
- ・駅の移設

図 岩波駅周辺地区のまちの将来像（イメージ）

5. 基本方針

岩波駅周辺地区の現状やワークショップ等のニーズから、当地区では、交通結節点機能の強化を図り、北部地域の拠点形成を目指すとともに、岩波の優れた自然環境をはじめ、富士山や箱根など全国的にも有名な観光地の玄関口としての魅力、また、新たにウーブン・シティに隣接する強みを活かし、交流や賑わい、魅力の創出と発信による地域の活性化を図ることとします。

また、誰もが住みたくするまちの実現に向け、定住人口増加の受け皿となる新たな住宅地や生活利便施設の整備誘致に関しては、当地区のみならず、岩波・御宿エリア全体の中で検討していくこととします。

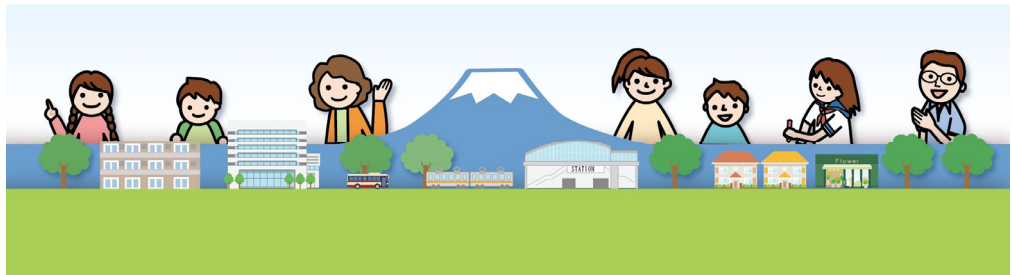
以上、まちづくりの基本的な考えを踏まえたうえで、まちの将来像を設定します。目指す姿は、岩波の地域資源とウーブン・シティなど周辺企業が持つ最先端技術を「つなげる」ことで皆がワクワクし、20年後の未来を創造できるまちづくりを目指すこととし、まちの将来像は『**岩波らしい自然と未来技術でつながるまち**』とします。そして、この将来像を実現することによって、当地区から北部地域、裾野市全域へとその効果を波及させ「田園未来都市 すその」の実現を図っていきます。

なお、まちづくりを進めるにあたっては、市民や周辺企業と連携しながら進める**市民協働の視点、公民連携によるまちづくりの視点、市民や来訪者のニーズに合った基盤整備や施設整備の視点**を大切に取組んでいきます。

まちの
将来像

岩波らしい自然と未来技術でつながるまち

- ① 岩波駅周辺地区における交通拠点機能・結節点機能の強化を図るとともに、公共交通や新たなモビリティの導入による移動手段の確保・改善、未来技術による人の移動に加え、生活利便性の向上に係るモノやサービスの移動等によって、**様々な場所やモノ、サービスと人がつながるまち**を目指します。
- ② 岩波駅周辺地区は、世界遺産富士山の雄大な眺望や溶岩流でできた（一）黄瀬川の景観等の豊かな自然環境を有しています。この岩波らしさを最大限にまちづくりに活かす取組を進め、**自然と人がつながるまち**を目指します。
- ③ グローバル企業やSDCC 構想参画企業の最先端技術を活用し、地域課題の解決を積極的に進めることによって、最先端技術と地域がつながり、**住みたくする職住近接のまち**を目指します。
- ④ 日常生活、企業活動、観光、まちづくり活動等の様々な機会を通じて**人と人がつながるまち**を目指します。



基本方針1：北部地域の拠点に相応しいまちづくり

『安全安心の向上、公共交通の充実、交通結節点機能の強化』

基本方針2：岩波の魅力を活かしたまちづくり

『自然や地域資源、未来技術、優しさ、暮らしやすさ、市民協働、公民連携』

基本方針3：交流の促進と職住近接のまちづくり

『観光交流の促進、ウーブン・シティの波及効果（地域の活性化）、職住近接のまちづくり』

6. 取組体系（事業計画の骨子）

岩波駅周辺地区まちづくりの整備計画について、中長期を含めて取組体系を示します。また、短期目標を実現させるために岩波駅周辺の安全性の確保等の地域課題の解決に取組むとともに、ウーブン・シティのオープンによる効果を最大限生かすための整備やソフト施策等に重点的に取組んでいきます。

目 標		基本方針	取組方針	具体的な施策
まちの将来像 「岩波らしい自然と未来技術でつながるまち」	短期目標 暮らしやすさの実感とまちの魅力創出 ♡安全安心の向上 ♡交通結節点機能強化と公共交通の充実 ♡憩いと交流・賑わいの空間の創出（公園、賑わい拠点の整備） ♡情報発信、魅力発信（観光拠点の整備及びコンテンツの整備） ♡誇りが持てる市民協働のまちづくり ♡持続可能な公民連携のまちづくり	基本方針 1 北部地域の拠点に相応しいまちづくり	取組方針 1-1 住む人、働く人、駅利用をする人等が安全安心を感じられるまち ※施策 2,8,7,10 取組方針 1-2 公共交通等の充実 ※施策 5,13,14,15,16,18,19 取組方針 1-3 交通結節点機能の強化 ※施策 1,2,3,6,16,17	施策1 駅前交通広場等の整備 施策2 市道1-12号線整備及び県道沼津小山線交差点改良 施策3 国道246号横断歩道橋の整備、市道1264号線の整備 施策4 （仮称）黄瀬川緑地公園・交流施設の整備 施策5 駅前拠点誘導施設（賑わい拠点施設、観光交流拠点）の整備 施策6 （仮称）御宿岩波線の整備、街区道路の整備 施策7 市道1706号線の整備 施策8 公園及び街区道路の整備 施策9 （仮称）スイッチバック跡地展望公園の整備 施策10 岩波駅東口改札等整備 施策11 （仮称）黄瀬川緑地公園・交流施設と連携した蛍緑地の整備
	中長期目標 『田園未来都市 すその』のモデルに ♡安全安心の向上 ♡憩いと交流・賑わいの空間の活用 ♡様々な人々が交流する持続可能なまちづくり ♡ウーブン・シティの波及効果（最先端技術、人、ブランド力）の受け止め ♡岩波駅周辺地区の魅力で定住人口の増加 ♡岩波駅周辺地区の魅力を北部地域、裾野市全域へ波及効果を拡大	基本方針 2 岩波の魅力を活かしたまちづくり	取組方針 2-1 岩波の自然や景観、眺望、地域資源等を活用したまちづくり ※施策 2,3,4,9, 11, 21,22,24 取組方針 2-2 未来技術を活用したまちづくり ※施策 13, 14, 15, 16, 25, 27 取組方針 2-3 誰にとっても優しく、暮らしやすいまちづくり ※施策 5,9,24,25,26 取組方針 2-4 市民協働と公民連携によるまちづくり ※施策 4,28,29, 30,31,32	施策12 駅周辺賑わい施設の整備 施策13 公共交通の充実に向けた検討 施策14 自転車のシェアリングサービスの導入実証等 施策15 パーソナルモビリティの体験・運用 施策16 新たな公共交通システムの研究・検討 施策17 運行情報提供の充実 施策18 既存バス路線の再編検討 施策19 高速バスの利便性向上 施策20 観光交流の促進 施策21 富士山眺望を活かした道路景観の向上 施策22 裾野市の顔となる景観の向上 施策23 スポーツツーリズム・アウトドアツーリズムの推進 施策24 商店街の活性化 施策25 暮らしやすいサービスの提供
		基本方針 3 交流の促進と職住近接のまちづくり	取組方針 3-1 岩波駅周辺地区が持つ“場”の力を活かした観光交流の促進 ※施策 4,5,6,12,20,23 取組方針 3-2 ウーブン・シティの波及効果の活用 ※施策 3,4,24,33,35,36 取組方針 3-3 岩波駅周辺地区らしい職住近接のまちづくり ※施策 27,34	施策26 基盤整備や施設整備におけるユニバーサルデザインの導入 施策27 次世代型近未来都市づくりの推進 施策28 公民連携のまちづくりの推進 施策29 多様な主体との連携推進 施策30 イベント開催や様々な住民、企業との交流を促進する取組支援 施策31 地域住民・団体、NPO等による取組支援 施策32 地域が「まちづくり」に参画する仕組みづくり 施策33 シティブランディングの構築 施策34 空き家・リノベーションの紹介・発信 施策35 企業誘致の促進 施策36 高付加価値の産業育成・創業支援・雇用の確保

7. 整備計画

基本方針1から3に基づく具体的な取組を全体整備計画のイメージとして下図に示します。基本方針を実現するために必要なハード整備（基盤、施設等）と様々なソフト的な施策を織り重ねて実施するとともに、子どもから高齢者、子育て世代、周辺企業で働く人等のほかに観光客やウーブン・シティへの来訪者等様々な立場の人々に対する視点で施策を考えていきます。

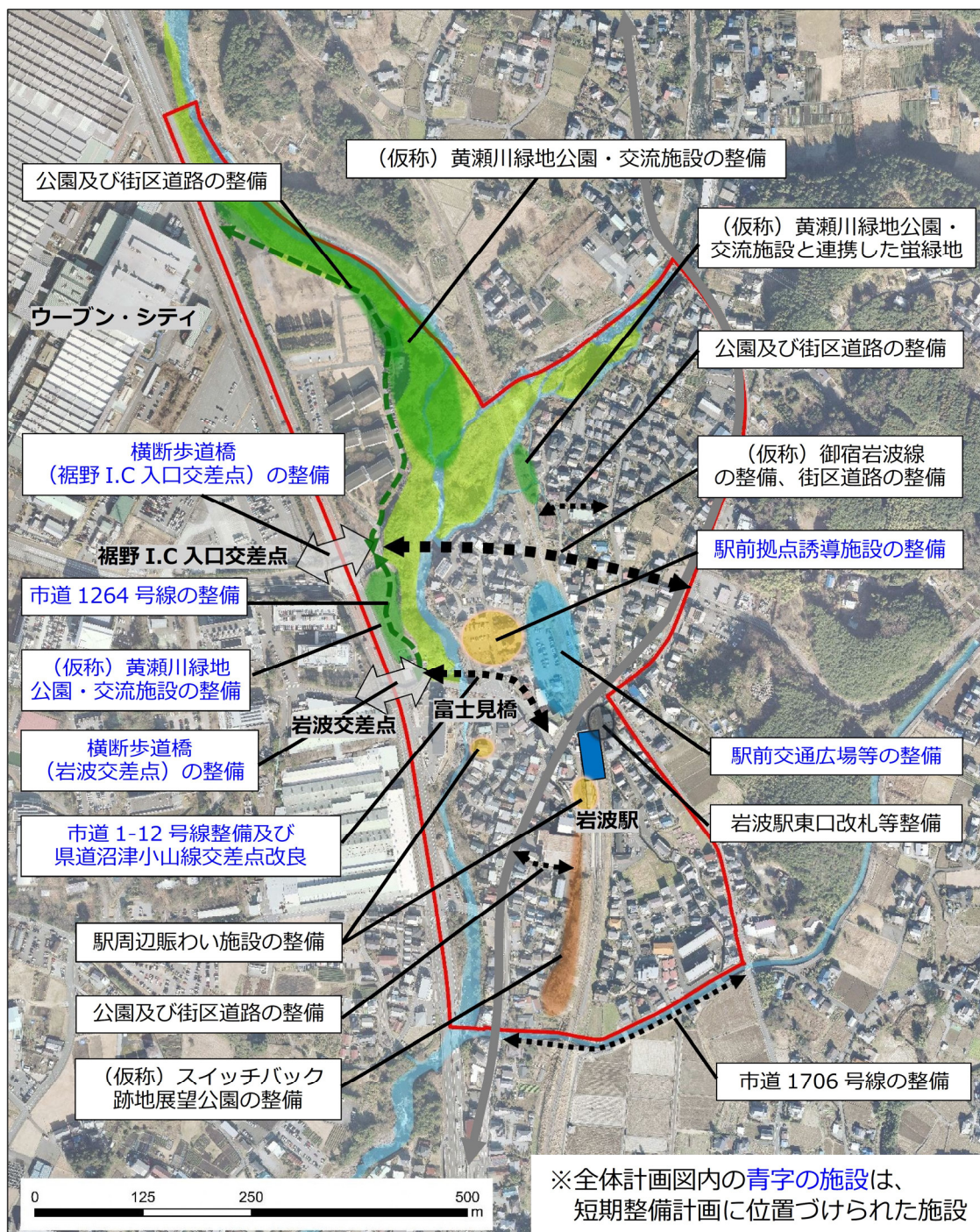


図 全体整備計画図



8. 短期整備計画スケジュール（案）

整備項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
市民協働	まちづくり協議	地域住民、周辺企業等の参加によるまちづくり協議（やりたいこと整備内容）									
	賑わい創出の取組	地域住民、周辺企業等の参加によるイベントの開催、各種実証等									
岩波駅前交通広場等											
駅前拠点誘導施設（モビリティハブ施設）											
駅前拠点誘導施設（賑わい拠点施設）		まちづくり活動広場整備 ニーズに沿った拠点施設整備									
市道 1-12 号線											
市道 1264 号線（（仮称）黄瀬川緑道）											
国道 246 号横断歩道橋（裾野 I.C 入口交差点）											
国道 246 号横断歩道橋（岩波交差点）											
（仮称）黄瀬川緑地公園・交流施設		南側緑地公園 北側緑地公園									
進捗管理（計画見直し）		ウーブン・シティの一部オープンによる影響を踏まえた見直し									

9. 短期整備計画概算事業費

短期整備計画に示した基盤整備等の概算事業費を示します。今後の関係機関協議や整備内容により概算事業費は変わることが想定されます。

整備箇所	概算金額
基盤整備費 合計	130億円～170億円

10. 計画推進体制

(1) 事業推進体制

まちづくり事業の推進において、市民や周辺企業と連携しながら進める市民協働の視点、将来の管理運営者を見据えた施設整備等に公民連携によるまちづくりの視点、ソフト事業（市民がやりたいこと、管理運営者がやりたいこと等）を可能にする基盤整備や施設整備の視点を持って取組めます。そのために学識者や市民等様々な立場の人による「（仮称）まちづくりデザイン検討協議会」を組織し事業推進に取組めます。

(2) 進捗管理

本計画の取組を効果的に進めるためには、社会・経済状況や地域ニーズの変化、技術の進化、施策の実施状況等目標水準の達成状況に応じ、改善へとつなげていくことが必要です。本計画において設定した施策（PLAN）を実施（DO）し、施策の実施状況や目標水準の達成状況を把握・評価（CHECK）し、それらを踏まえて施策や目標水準等の改善・見直し（ACTION）を行う、「PDCAサイクル」に基づく進捗管理を行います。特に、ウーブン・シティの一部オープンは、岩波駅周辺地区を取り巻く環境に大きな変化を与え、短期整備計画にも大きな影響を与えることが想定されます。したがって、計画中間年次となる2026年度（令和8年度）に施策の実施状況や目標の達成状況等を把握・評価し、施策や目標水準等の改善・見直しを行い、計画（施策等）への反映を行うこととします。



岩波駅周辺地区まちづくり基本計画（概要版）

令和4年3月

発行：裾野市 建設部 付
 ウーブン・シティ周辺整備担当

〒410-1192 静岡県裾野市佐野 1059 番地

☎ 055-994-9010 / FAX 055-994-0272